

まちひとしごと

Vol. 37

水野自転車店

代表 みずの まなぶ 水野 学 さん



感謝の気持ちをお忘れず 自転車を通じて地域に貢献を

昨

年12月、駅前通りに複合商業施設『Camp&Go（キャンプアンドゴー）』が開業。施設のテナントのひとつ、自転車専門店『水野自転車店』代表の水野学さんに話を聞いた。

札幌市で生まれ育った水野さん。小学生の頃は水泳やサッカーを、高校ではラグビー部に所属するなど、体を動かすことが好きで、現在でも時間がある時には、スキーやマラソンなどの趣味を楽しむ。

「大学生の時に購入したマウンテンバイクが、本格的な競技用の自転車との出会いで、時間のあ

る時には山道や林道を走ったり、ツーリングを楽しんだりしていました」

アクティブな学生時代を過ごした水野さんは大学卒業後、市内の老舗自転車店に就職。その後、平成27年に独立し、市内に『水野自転車店』をオープン。さまざまな経験をすると同時に、多くのお客さんと出会うことで人の輪を広げた。

「お客さんは札幌市内だけでなく地方の方も多く、出張で修理や整備に伺うこともありました」

札幌での開業から3年が経った頃、俱知安町のお客さんから、町に自転車屋さんがなくなるという話を聞いた。

「シティサイクルのパンク修理から競技用自転車の整備まで、幅広い層のお客さんの声に応えたいと考えていた自分にとって、俱知安町での開業は、またとない挑戦の機会なのではないかと考えました」

それから間もなく、人づてに『Camp&Go』を開業予定のオーナーと会う機会を設けてもらい、意気投合、水野さんは俱知安町での開業を決めた。

開業から約1カ月、お客さんと

接する中で、『水野自転車店』が自転車専門店として地域から求められている存在であるということを実感しているという。

「開業に際し、以前からお付き合いのあった地元の方々も応援をしてくださいました。その方々への恩返しも含め、まずはできることから考えています」

幅広い層のお客さんの求めにしっかりと対応するとともに、地域に貢献できる町の自転車屋さんを目指したいと話す水野さん。

「地域貢献のためには、観光振興や交通安全、健康増進など幅広い活動が考えられますが、何よりもまず、自転車を通じてしっかりと向き合うことを大切にしていきたいです」

※まちひとしごとは不定期連載です